



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立大槻小学校
学校だより No.62
令和5年 3月30日
文責：校長 酒井 健

◇春・・・お別れの時・・・ありがとうございました

3月23日は、卒業証書授与式が行われました。体育館が、凛とした空気に包まれ、在校生の5年生、卒業生ともに、しっかりとした態度で式に臨むことができました。真剣な眼差し、背中をぴんと伸ばした姿勢、大きな声での呼びかけ、感動の式歌・・・本当に素晴らしい子どもたちでした。大槻小学校の子どもたちは本当に立派です。

在校生、卒業生・・・全ての子どもたちが、「夢」と「希望」と「期待」を胸に、新年度をスタートできることを心から願っております。



さて、令和4年度末教職員人事異動により、本校では10名の教職員が大槻小学校からご退職・ご転出となり、本日、子どもたちとお別れの式「離任式」が行われました。すでに、25日の新聞にも掲載され、保護者の皆様方もご周知のことと思いますが、ここであらためて、ご退職・ご転出される職員をご紹介します。

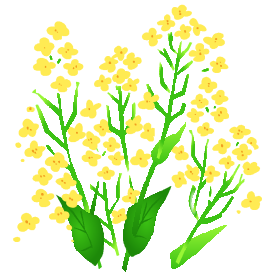
【ご退職】

- 主任主査 高橋 章子
- 教諭 相楽 澄男
- 教諭 本多 幸子
- 講師 小針 佳純

郡山市立柴宮小学校へ 特別支援補助員として

【ご転出】

- 校長 酒井 健 郡山市立橋小学校へ
- 教諭 長壁 晶子 郡山市立桑野小学校へ
- 教諭 木村 優子 矢吹町立中畑小学校へ
- 主任栄養技師 吉村 浩美 郡山市立富田東小学校へ
- 学校司書 大場 智美 郡山市立小原田小学校へ
- 用務員 佐藤 義幸 郡山市立小山田小学校へ



本日の離任式では、児童代表として、5年生の渡辺陽菜乃さんが「お別れの言葉」を心を込めて伝えることができました。子どもたちも、先生方も、これまでのたくさんの思い出が心に蘇り、涙があふれる式となりました。

校長のひとりごと

「校長のひとりごと」も、これが最後の「ひとりごと」となってしまいました。

歳月は 夢の間に過ぎ

今もなお 心に残る 人の温もり

この季節になると、いつも頭に浮かぶ言葉です。その時、その時は、当たり前のように過ごしていますが、お別れとなると、ふと、その人の心の温かさが思い出されるものなんですね。「出会いは偶然、別れは必然」と言います。たった2年間でしたが、大槻小学校の子どもたちと過ごした日々は、私にとっての大きな宝物です。保護者の皆様、心から感謝申し上げます。



